

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぼてと(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	R7年12月1日		～ R7年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	R7年11月17日		～ R7年11月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや家族からの相談や申し入れについて対応の整備がされている。	職員間の連絡体制を整え、相談事に迅速に対応できるよう努めている。	家庭での更なる困り事を把握するためwebサービスを利用し匿名でのアンケートを実施している。回答は動画を作成し、HP上で全体へ公開している。
2	HPやofficialLINEで日々の支援や活動概要、お知らせや講演会、必要な情報の提供、開示をおこなっている。	個別課題を含め、日々の様子を写真や動画にて保護者へ配信している。また、保護者へはいつでも見学可能であるため、気軽に来所して欲しい旨を伝えている。	web上の機能を活用し視覚的に理解しやすい工夫を行う。
3	安全管理に必要な研修、災害に備えた訓練を定期的に実施し、非常時に備えている。	・重大事故に繋がらないために日々ヒヤリハットを記載し職員間で共有を行っている。 ・AEDの使用法や心肺蘇生、火災や地震を想定した災害訓練を行っている。また近隣の消防署に協力をお願いし職員への指導を行っている。	今後も継続した訓練を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー対応の設備ではないこと	幼稚園舎を使用していること、また建物の老朽化が進んでいる。	・児童の安全面を考慮し、老朽が進んでいる箇所は町役場へ連絡を行い修繕工事の依頼をおこなっている。 ・肢体不自由などの対象児童の場合はバリアフリー化されているはびりすぼてとの利用をすすめる。
2	地域に児童発達支援センターがないため、第三者による外部評価が得られないこと。	児童発達支援センターが身近にない	質の向上を図るため、研修等で専門家や専門機関等から助言を受けたり、外部研修に参加している。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ほと
------	----

公表日 令和8年 2月 3日

利用児童数 36 回収数 30

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	29			1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	1		3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	3		5		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28			2		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28			2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29			1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27			3		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28			2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	1		4		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	22		3	5		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	1	1			
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	1		1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25			5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	29	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	27	2		1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28	1		1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	1	1	7	・バザーの時間がもう少し幅広くできたら良いなと思いました。 ・0円バザーいつもありがとうございます。	実施時間の延長を含め、見直しを検討したいと思います。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28			1	・相談に乗ってもらった時に親身に話を聞いてもらい希望にすぐ対応して頂き嬉しかった。 ・連絡帳で聞きたいことが聞け助かっています。	今後も迅速に対応させていただきます、何か気になることがございましたら、連絡帳でもお電話でも承ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28			1	・連絡帳とLINEを活用させてもらっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28	1		1	・「こんなときは」の動画、面白く参考にさせてもらっています。	不定期での配信となりますが、今後も配信を行っています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28			1			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	1		3	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	23			7	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	28			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28			2	・利用し始めて間もないためわからない。 ・連絡が遅れることがある。 ・しっかり報告がもらえています。 連絡が遅れないように努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28	2			・スタッフの顔を見るとニコッと信頼している事がよくわかる。 お子さまとの信頼関係を築くことが第一と考えております。今後も“安心できる場所”を継続していきたいと思えます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28	1			・ぼてとだよと言うと「やった」と飛び上がって喜んでる。 ・送迎の車を見ると嬉しそうであり「今日はぼてと行くよ」と伝えると「ぼてと〜！」と通園リュックにオモチャを詰めています。 とても楽しみにしています。 ぼてとでの活動を“たのしい”と参加できるように、楽しみながら学習や支援を行っていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	28			1	・利用し始めて間もないためわからない。 ・一人一人と向き合った対応に感謝です、いつもありがとうございます。 今後もお子さまの現状を正しく理解し支援を行っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぼてと				公表日	令和8年 2月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	パーテーションを使い工夫している。	検査に取り組みめる個室がほしい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	建物が古く幼稚園舎跡地を使用しており構造上難しいが段差にはめ板を設置したり、はびりすであれば入口前がスロープであり室内も段差がないため対象児童がいた場合は、はびりすの利用をすすめる。	バリアフリー化はされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	職員で改修できる所は行う。	老朽化で修理が必要な所がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	パーテーションで区切り簡易的な部屋を作り工夫している。	個別の部屋がない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月行われている職員会議や各部署ミーティングで時間を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	来年度、外部監査が行われるため、結果を業務改善につなげていきたい。	今年度、外部監査がなかった。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	こどもの適応行動について応用行動分析、またはVineland-IIを使用している。また日々の行動観察においては振り返りを行い、支援経過に記載し周知する。	インフォーマルなアセスメントの確認は行われていない。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	支援終了後は必ず行えないため、朝礼にてその日利用する児童の前回の支援や結果、手順等の周知を行い共有する。振り返りの時間は設けていないが朝礼などで情報の共有ができています。	その日の様子などは共有しているが、毎日打ち合わせは行われていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1	児童発達支援管理責任者、または法人代表が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	必要があれば共有していく。	園には書類を提出したり情報交換ができていますが、移行支援シートを使用しない児童に関しては、就学先の学校とは情報共有ができていない。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	3	質の向上を図るため、研修等で専門家や専門機関等から助言を受けたり、外部研修に参加している。	児童発達支援センターが身近にない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3	認定こども園・保育園等と併用して通所している児童が殆どであるため積極的な交流の機会は設けていないが、機会があれば参加したい。	交流の機会は設けていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	2	バザー等の保護者会を通じて交流する場を設けている。	父母の会は行われていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1	希望があれば随時面談を行い、LINEofficialで写真や動画を撮影し、視覚的に理解できるように連絡事項を伝えていく。	意志疎通が図られているか分からない。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	希望があれば開催したい。	利用児童の関係者は参加できるイベントがあるが、それ以外の人の参加する行事はない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	1	担当者会議や保護者面談を通じて、どのような場面で身体拘束が必要なのか等の説明を行う。	担当者会議等で説明はなく、計画書にも記載していない。	